

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	関西国際空港関連事業			事業番号	001-018
担当部署名	市長公室	局	政策企画	部	広域連携担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 59 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	泉州9市4町の自治体、大阪府など		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	関空利用者 ※対象数についてはコロナ禍以前の令和元年度利用者数を元に計上	対象数 約2877万	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	関空を核とした堺市、泉州、南大阪地域全体の活性化		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関空の国際ハブ空港としての機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 関連府・県、政令市、経済団体で構成する関西国際空港全体構想促進協議会（以下、「促進協」という。）を通じて、関西国際空港全体構想の促進に向け、関係機関への要望活動、航空会社等への就航促進活動等を実施する。 ○ 関空の地元9市4町で構成する泉州市・町関西国際空港推進協議会（以下、「関空協」という。）を通じて、関空の更なる発展、泉州の均衡ある地域振興及び良好な環境づくりを図るため、関連事業等についての意見交換や関係機関への要望等を行う。 ■ 関空を活かした地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 関空協を通じて、関空の更なる発展、泉州の均衡ある地域振興及び良好な環境づくりを図るため、関連事業等についての意見交換や関係機関への要望等を行う。 		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	泉州市・町関西国際空港推進協議会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	関空の国際ハブ空港としての機能強化及び関空を活かした地域活性化					
	当該目標を設定した理由	関空の空港機能の更なる強化に向け、実施主体、関連団体である国や大阪府、運営会社である関西エアポートへの要望を実施する必要があるため。				
	目標に対する実績	必要に応じて関空協等から国へ要望・提言等を行った。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	要望活動前の各自治体間協議 (関空協・促進協)	回	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	-	-	-
			実績値	4	4	-
	達成率	-	-	-		
	当該指標を選定した理由	社会情勢をとらえ、実効性のある要請文となるよう、事前協議を行っている。				
	目標値の設定根拠・算出方法	実績値については要望文、活動等の協議回数。要望を行う場合に事前協議を行うものであり、要望については必要に応じて実施するものであることから、目標設定がなじまないため、実績値のみ記入している。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	関西国際空港関連事業	事業番号	001-018
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	120	120	120	120	120
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	120	120	120	120	120
14 人件費 (b)	6,980	4,680	4,350	4,350	4,350
15 年間経費(c)=(a)+(b)	7,100	4,800	4,470	4,470	4,470

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
		R4 予算	120	120	R4 予算		
		R3 決算			R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		
		R3 決算			R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		
		R3 決算			R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		
		R3 決算			R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		17 ① 要望回数	回
② 上記①にかかる年間経費	千円	4,800	4,470
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	600,000	558,750
備考 (算出についての説明等)	要望・提言回数 + 要望等に係る各会議への出席回数		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 関空の地元自治体として、泉州地域の活性化のために関空の利用促進に向けた取組を行う必要がある。特に新型コロナウイルス感染症の影響を受け航空需要が激減している中、国際ハブ空港としての機能回復・強化は、本市の観光需要回復にも必要と認識。
 分担金については、泉州9市4町の自治体の合意のもと規約を設置し負担額を決めており、本市のみの判断で縮減することはできないものと考えており、また、関空のPRに寄与することで歳入確保を図っている。
 引き続き空港機能の維持・強化等について継続して国等関係機関に要望するとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、航空路線の段階的な回復等について、要望等を行っていく必要があると考えている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 国の令和3年度補正予算において、「雇用調整助成金等による雇用維持の取組への支援」や「機動的な水際対策の推進、入国者の健康確認の体制確保」が決定されるなど、コロナ禍の中での関空の機能強化が果たされた。